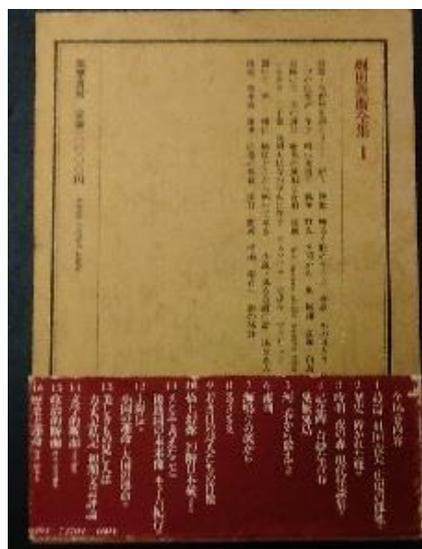
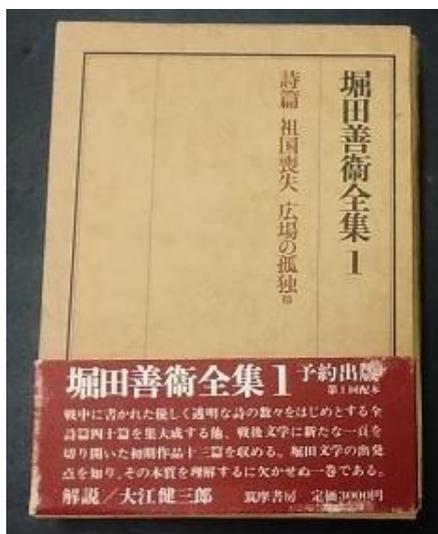


(再掲) 2019年4月1日 (月) 朝のうちは晴れ、新元号発表「令和」
『堀田善衛全集』見なおす試み

堀田善衛全集 (筑摩書房 1974年6月20日発刊開始)



2020年5月4日 (月) 曇り、小雨

先週末急に暑くなり、あわてて衣替えをした。昨夕から雨になり、今朝もまだパラパラ、少しむしっとする。このところ阪急デパ地下の「仙太郎」には長い列が続く。商品ケースに3種類の柏餅、粽、「みなずき」など。明日は立夏で端午の節句。

ー 仕事の誇りは出会いにあり ー

昨夜のニュースで山梨県の感染者の発表が報じられた。感染した20代の女性の行動を聞いていて、「感染経路不明」が増えるワケもよくわかる。潜在的にかなりいるとは思っている。

感染をわざと広げようとした熟年男性もいたが、自他ともに人のことをあまり考えない、想像力が働かない老若男女がいるもの。山梨の女性もその一人。なんとも啞然とする。

でも今の社会はその人をすぐに特定できてしまう。20代ならSNSに浸かっているにちがいない。ひょっとするともうSNS上で批難ごうごうになっているかもしれない。それはそれでまたおそろしい。

今朝の日経トップに「新型コロナ、止まらぬ情報汚染」の記事があった。文書や動画の誤情報が1億回以上の視聴され、触発された人が深刻な事件を起こしているのだとか。

考える力、精神性を「デマ」に奪われる。そんなことは絶対に嫌。知らないうちにその気にされられてしまう自分を考えると、おそろしい。あとでそれに気づいたなら、自分で自分を許せない。

根っからそう。だから、直感的に危険なものから身をさける術をそなえているのだと思う。物理的にも精神的にも、自分の心身を損なう人やものを自然にかわしてきたし、今も、これからもそう。

おかげであまり不利益を被ったことがない。結果として、目にみえる利益は限られるが、折にふれ“出会いに恵まれてきたなあ”と感じてきた。そして最近、“仕事の誇りは出会いにあるなあ”と悟る昨今。

2020年5月6日（水） 曇り、薄日

昨日は本当によく晴れた。そして暑かった。今日は不安定な空模様の予報。大型連休最後、といっても「緊急事態宣言」延長で、明日も街の様子は今日とあまり変りようがない。今朝の地下鉄車内はこの連休で一番人が少なかった。

— 音声版を試してみても —

「宣言」延長の正式発表があった。オリンピック延期が決まり、世界の混沌を目の当たりにして感じたこと。「堀田善衛」が書いた時代の同じような状況下を生きていて、いずれ誰かが書く今の時代の登場人物の一人になるんだなあ…と。

まちがくなく歴史的な大きな事態のただ中を極小の点ながらも経験し、とびかう情報や光景を見聞きして、自分なりに時代を測り、自他ともを案じつつ、ジタバタはせず、自分のフィールドでできることをやるのがまずは大事と考え、それをやる。

このessaisを音声でやってみては？ そう思い立ったのは先週。スカイプを使う必要性が出て、そのインストール作業を終えてからだった。不特定多数の人にむけてではないので、外部のサービスを使わず、単体で音声を載せるカタチでやりたい。

それが簡単にできた。いかにも素人的だが、ボタンの図とつくり、録音したデータをアップしてリンクを貼れば、自動的にスピーカーが出て、再生してくれる。なんともシンプル、でもこれが十分。なぜ今まで思いつかなかったのだろうと思ったほど。

人間、イレギュラー、不安定な状況になると、何とかしようと考えを巡らすもの。音声のこのメニューを「プロジェクト」のメニューにした。今日で三回目、声に出して語りかける、これがなかなかたのしい。始めたばかりだからか、どうだか、まだわかりませんが。

2020年5月8日（金）

当所お向かいのJR西日本本社ビル敷地内の開放円庭。



2020年5月8日（金） 晴天！

昨夜は満月だった。日中もよく晴れ、夜空にくっきり浮かんだ。今日も朝から陽が燦燦、新緑が目によさしい。

ー モンテーニュの叱咤激励 ー

ひと月前の4月8日がはるか遠くに感じる。まだ一ヶ月しか経ってなかった。ふりかえれば、この一ヶ月は自分のことに時間を費やす気にならなかった。

「片づけ」といった時間作業はしても、自分の仕事のための思考作業にはなぜか気がむかなかった。それが昨日あたりから、その気になってきた。心境に変化が出てきたと感じた。

左上段にも紹介しているモンテーニュの言葉、「自分をこまかく観察する」にならば、この変化を自分なりに読み解くと、「宣言」の出る状況に自分のことばかり気にかけていてもダメだと心のどこかで感じた。

そこで自分のフィールドでできることを決め、アナウンスして、実践できたことで、まずは役目は果たせていると感じられたことで、心も次の段階へ進んだのだと思う。いざ、自分の仕事に精進、精進。

読んで20年にもなる『モンテーニュ』。まるで今の時代を生きる人生の大先輩のように当時も身近に感じたが、モンテーニュのグローバルな思考が時代を超えるのだと思う。

社会に目をむけ、自分に目をむけ、自問自答をかさねて、社会の中で自他ともによりよく生きようと試みる。いまモンテーニュが叱咤激励しているよう。

2020年5月11日（月） 朝のうら曇

昨夜雨が降り、今朝もまだ曇り。午後からは晴れる予報。今の段階でも少しむしっとするが、今日はかなり蒸し暑くなりそう。奄美はすでに梅雨入り。

— 『目は口ほどに物をいう』 —

今回の「コロナ禍」でしみじみ感じた、国のトップには本当に真つ当な人を選ばなければと民は不幸。たとえばブラジルにはため息が出る。

昨日の午後、『1987 ある闘いの真実』を観た。前に録画してあったもの。映画の始めから終わりまで、何というか、歯をぎしぎしする想いがわいてきた。

非道、悪行は筆舌につくしがたいと言われる当時の政権。韓国の民主化は民衆の凄惨な犠牲があって今がある。自分たちで勝ちとった民主化という自負はあるだろうと思う。

今朝の日経に世論調査の結果が載っていた。「コロナ」への国や知事の対応への評価もあった。国への評価は下がり、知事ではやはり大阪知事がトップ。東京のテレビでも露出度アップ。

大阪では何度も民放各社のテレビ番組に出ていた。対戦姿勢のキャスターにもけっこう真正面から向き合っていた。記者会見の様子も何度もニュースにあがっていた。

好評価の決め手は、国より先回りして対策をとっているそのこと以上に、人々が見てとっているのは、バックヤードで懸命に労力を費やしているんだろなあと思わせる目の下のクマ、目の鋭さ、表情なのだと思う。

『目は口ほどに物をいう』。何かしら顔の表情に出るのは間違いない。世界のトップの面々を思い浮かべる。人ごとではないけれど。

2020年5月12日（火）晴天の午後、当所東窓下のプレハブ倉庫の屋根上で野良猫が昼寝



2020年5月12日（火） 日の入り後の西空、「宵の明星」金星



2020年5月13日（水） 晴れ

今日もよく晴れそう。ただし黄砂が押し寄せるとか。窓を大きく開けたいが、控えめにしておく。花粉、PM2.5、黄砂、新型コロナウイルス…、人間はそのうちシェルターで暮らさざるをえなくなるのではないか。

— 「慣れ」とのたたかい? —

今週に入り、当所ビル並びのカフェが営業を再開させた。15日の自粛解除判断を見込んでか、『背に腹はかえられない』か。

梅田の人出も増えてきた。感染状況に人々が慣れてきた面もあるか。レジ待ち列の間隔をあける、消毒液が店頭に備えてある、等等、一定の対策が目に見えるから、何となく、大丈夫に思えてくる。

第2波の予想は初期の段階から言われていたので、そのこともどこかで了解している気になっている。

ただ、いざそうなった時の現実、特に事業者にとって酷。明日あさっての国と自治体の決定が、人々の行動をどこへ向かわせるだろうか。

ニュースで自粛が解かれたドイツのパブの様子をみた。開放感にひたっている人々。以前と変わらず、マスクなしの若い男性3人がビールをグイ飲みして談笑。

今後ずっとそうあってほしいが、“これはまた、広がるなあ…”の感。

2020年5月15日（金） 曇り

薄日の朝、これから雲が多くなり、夜には雨の予報。今日は葵祭りの日、例年なら事前に関連行事のことがニュースにあがっていたが、なかった。調べてみると、「御禊の儀」も行列も今年は中止。そういえば、大田神社の杜若は今が見頃のはず。

— 『無知はたやすく暗示にかかる』 —

大阪は「宣言」の対象には残ったが、「大阪モデル」達成で明日から「要請」が解除されていく。でも元には戻らない。業態、生活様式を変えざるをえない。映画館はどうなっていくだろう。

「コロナ禍」、平時には見えなかったことがいろいろと見えた。愛国の有名作家でさえ、大丈夫かと国の対応を案じた。同時に『おたがいさま』の精神か、まざまな分野で助け合いも広がった。

善と悪が極端に出る。善は大歓迎として、悪が極端にでると、過去の歴史が教えるように、悲惨な事態を引き起こす。昨夕のニュースで「自粛警察」の愚業を知ったが、『凡庸の悪』の芽。

今年2月に読んだ本の中に、「無知はたやすく暗示にかかる」とあった。それは皆がなんとなくわかっていることではある。暗示に抵抗できるかどうかは、「主に文化水準によって左右される」とも書いてある。

それも何となくわかっている。だからずいぶん前から所得の格差が言われ出して、所得の格差が教育の格差になり、教育の格差には、文化の格差も含むことを憂いた。

まずは身近なところで、せつせと、「読書しましょう」と働きかけている。

2020年5月19日（火） 曇、午後から晴？

深夜よく降った。気温も高く、まるで梅雨のよう。午後からは晴れて、明日はカラッとしよう。

— 『われわれはどこへいくのか』 —

「自粛」が段階的に解除となり、新しい週に入った。この間、当所ビル通りにあった飲食店がなくなった。今の事務所へ引っ越してくる前からあったお店。この機に廃業したのだと思う。

同じ通りの少し東に入ったところに2年前にできた高級レストランがある。「いちげん」を寄せ付けない、予約客したいかないようなお店。昨日みると、通りにお店の案内看板を立てていた。

今朝の新聞を読むと、武漢での「コロナ」感染の広がり、エアコンの風が影響したという調査結果が載っていた。地下鉄でも車内はいま窓の一部をかけている。これから暑くなると、さて、どうするか。

地方への転職を希望する若い人が少し増えたらしい。以前から無機質な都市生活をはなれて自然豊かな土地へ移住する層はいた。「コロナ禍」を目の当たりにした若者たちがそこに加わるか。

阪急百貨店はまだ地下のみの営業、土日は休業。百貨店はあの大きな所帯をどうするか。ショールーム化を徹底して、オンラインショッピングの一大スタジオにする？

21日に「宣言」全面解除の判断とのこと。ネット社会の変遷をその渦中でみてきた。「新しい常態」はどのあたりまで見ていけるだろうか。はたして、どれほど変わるだろうか、変らないだろうか。

2020年5月21日 中之島 バラ園

中之島図書館へ行ったついでに、少しバラ園をのぞいた。昨日より気温が下がり、風はちょっと冷たい。でもよく晴れて、なんとも清々しいお天気。白いバラがよく映えます。



2020年5月21日（木） 今日も晴天

昨日より気温が下がり、風が少しつめたい。でもよく晴れて、なんとも気持ちのよい天気。5月も下旬、梅雨も近い。

— 聴覚に働きかける —

コロナ後の新しい常態へと世の中が動きだしている。一昨日だったか、日経の記事に、今回の感染が10年前に起こっていたら、もっと混沌としたに違いないとあった。デジタル対応でずいぶんカバーできた、と。

知人の一人からは、かなりオンラインに切り替えたけど、かえってオフラインの良さが実感するという人もいる。これからは生活の8割オンライン、2割オフラインということになるのではないか。2割には、その事柄の濃さ、深さ、特異さ、などなどの独自の意味をもたせようとなる。

ところで個人的にはこの機に再発見したのが、聴覚に働きかける「音声」。試しに録音データにリンクを貼るカタチで「一言ひとり言」を始めたのが先月30日。今のところ本当のちょっとした一言を発信。

これをブラッシュアップするとしたら、外部のサービスを使うのが便利。そこで音声版のツイッターのようなものがないのかとネットで調べたみたら、あるのはあった。でも使い勝手があまりよくなく、広がらなかった様子。

そこへつい最近新しいのが出て今アメリカで話題のものがあるらしい。Clubhouseとあった。近いうちに日本版も出てくるはず。これは試う気になった、他のものはあまり思わなかったけど。

わたしに限らず、個々人もその人なりの新しい常態がつくられていく「コロナ後」＝「AC」です。

2020年5月25日（月） 朝のうちは晴

朝一番は雲が多かったが、今は晴れ。5月も今週いっぱい、6月には梅雨、今のうちにカラッと晴れ間を堪能しておきたい。2月初旬からこの間、新しい春を迎えた感がなかった。夏は無事味わえるか。

－ 少しずつ「コロナ後」の常態 －

「宣言」の全面解除が今日決まる見通し。大阪は先週解除され、商業施設が再開し始めた。だいたいは入り口と出口を別にし、マスク着用と消毒の上、入店可。

映画館は一席おきの販売が基本。観客にとっては好都合、左右に気が散らなくてゆったりと映画に集中可。これまでの業態のままなら、これでは経営の維持は難しい。映画館はさて、〈どこへ行くのか〉。

このところキッチンカーが増えているらしい。休業の飲食店がたくさん試みているとのこと。昔は、ロバのパン屋さん、お豆腐さん、「いーし、やき、いもー、おいも!」、「さおー、だけ〜」。年がわかる。

先日久しぶりの知人から電話があった。関東をメインに山陰にも生活の拠点がある。ちょうど山陰にいる時に「宣言」が出て、今もいる。25日の決定で関東へ戻る予定だが、今後は山陰をメインにしようかと考えているらしい。

「それは、もう、山陰にうつしていいんじゃないですか、これからのことを考えると。仕事はオンラインで大抵のことは事が足りるでしょうし」と、考える間もなく口をついて出た。先方も、『そうなんですよね』。

テレワークで疲れた目を、窓のむこうの山をみて和ませ、一服がてら、自宅農園でちょっと土仕事をして、ご近所さんからもらったお惣菜をおかずで昼食をとって、またひと働きする。いいじゃないですか。

それにしても、過ぎてみれば2月からの4ヶ月の世界が蜃気楼のように見える。現実にあることだけど、何かオブラートに包まれているような…。これは一種の〈慣れ〉か。でも、「コロナ前」には戻らない。

2020年5月27日（水） 徐々に晴れ

昨日夕方から早朝にかけてよく降った。まだ路面はぬれている。これから晴れてくるから、たぶん湿度が高くなる。そういう季節になる。

－ 考える時間、精神的活力 －

社会全体が再び動き出した。つい先週までのことがなかったような…。でも幻ではなく現実。デバ地下の各店カウンターに垂れ下がる透明ビニール。なんとも不粋だけど、象徴的。

ラジオの今朝のニュースで小中学生たちへのアンケート結果を伝えていた。休校、外出自粛が続いたこの間の意識調査をしたらしい。耳にともったのは、「考える時間が増えて、不安になった」という回答。

先行きを考えて、という意味か、考えること自体で不安になるというのか、どいうことだろう。たぶん前者ではないかと想像するが、回答の意味合いがいまいちピンとこなかった。

『体は楽なのだけど、精神的な活力がわいてこないのが、キツイ』。そんな風言う人がいた。この間の休業・外出自粛で、知らず知らず、そうなっている。だから読書感想文を書くようにしているとか。

あまり考えなくて済む人は考えないだろうし、考える性質の人は考える。考える時間が増えて不安になる子どもなら、考える性質を持って生まれたといえそう。大人になれば考える時間がないとキツイと言うようになるのではないか。

体は老化しても、精神を熟成させて、成長のバランスをとる。そう考えると、年を重ねて精神的活力がわいてないと、たしかにキツイ。個人的には今のところ未だ維持しているが。

2020年5月30日（土） 五月らしい晴れ

大阪は今日も昨日も一昨日も、カラッとしてよく晴れた。来週の終わりには梅雨入りの可能性もあり、貴重な晴れ。

ー 自分を律して、〈踏み止まる〉 ー

表向きはほぼ日常に戻った。今も早朝早夕に移動しているので、通勤ラッシュの込み具合はわからない。早い時間帯はまだ人が少ない。

電車も商業施設も冷房が入りだした。当分換気は続けることになるので、真夏にかけてガンガンに効かせることになる。都市では電気の消費量も増えるということか。

当所のビルはエアコンが全自動ではない。今のところまだ送風だけが天井から吹く。窓を開け、ドアも開け、自然の風の通して過ごす、新聞を読む。

今日の朝刊文化面は作家の「高橋源一郎」が書いていた。題は『踏み止まる』。今回のウィルスの感染と「誹謗中傷の氾濫」の「深い繋がり」をつき、『ペスト』の一節を紹介しながら、誠実な人としてどう〈踏み止まる〉かを考察していた。

思考停止状態に陥らず、自分の頭で考える。その考えるための最良の方法が「書くこと」。言葉は毒にもなるけど、その毒に対抗するのも言葉、それしかない、と書いていた。

武器にもなるが、危険性も合わせ持つ。大統領までもが、〈踏み止まる〉ことなく、便利なツールを自分の都合のよいように使い、発言を注意されると、権力で抑え込もうなんて、社会教育に何と悪いことか。

自分を律して〈踏み止まり〉、自分を守るだけに言葉を武器にせず、他者の守るべきものを守るように言葉にする。それでも必ずギャップはあるはず。だから言葉をつくすことが大切。そう努めよう。